

子どもの国

だより



2012年5月発行 Vol.26



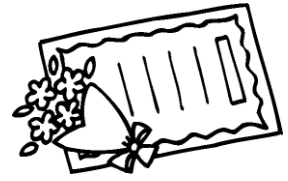
- 放課後学習支援事業「ゆめの木教室」
小中学生：月曜日～金曜日 午後2時～6時
- 青少年の自立支援事業「そら」
水曜日：午後6時30分～8時30分

- 青少年の健全育成のための事業
問題を抱えた子どもとその家族に対し
随時相談・援助を行なう
- 交流会 年4回開催




卒業生メッセージ


平成23年度、「ゆめの木教室」から、小学6年生3名、中学生3年生2名、高校3年生1名そして大学生スタッフ3名がそれぞれの学校を卒業しました。
 皆さん、ご卒業おめでとうございます。更なる飛躍を期待しています。



5年生のとき、成長痛でサッカーができなかったのですが、中学生になったら、サッカーをがんばりたいです。



中1H世界平和に貢献するために外交官になりたいです。中学校へ行ったら、特に英語をがんばりたいです。
 中1R



夢に向かって



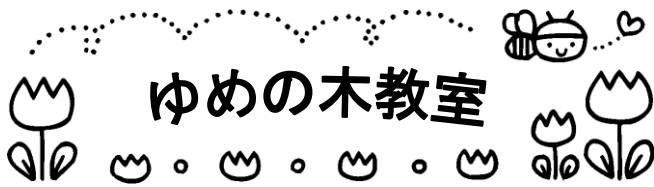
小学2年生より「ゆめの木教室」に通い、立派に成長したAくんが無事高校を卒業し、昔からの夢であったプロサッカー選手になるために帰国しました。母国で、プロチームに所属し、1軍昇格を目指します。近い将来、テレビで応援できるといいですね。

ゆめの木の皆さん、11年間大変お世話になりました。ペルーに帰ったら一流のサッカー選手になれるように一生懸命がんばります。人として一回り大きくなって、「ゆめの木」の子どもたちの良いお手本になりたいです。日本へ帰って来た際には、またよろしく願います。



☆上手に書けました☆





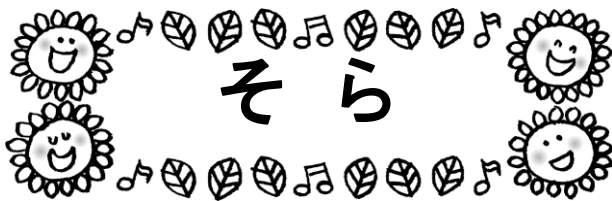
各活動の内容を毎回メーリングリストで報告し、活動の共有を図っています。

【学習の様子】

- ・ 3年M 漢字ドリルの宿題は、読めない漢字にルビをふることがイヤで、どうしてもできませんでした。
- ・ 3年T 漢字「紙」のはねるととめるを間違えて覚えています。
- ・ 4年M みんなが終わった後も、がんばって「宿題」と「ゆめの木」の勉強をやりました。
- ・ 5年B 「ゆめの木漢字検定」の勉強をがんばりました
- ・ 5年Y 4年生の学習内容である分数をすっかり忘れていました。数直線上のどの位置になるかが分かりませんでした。

連絡

- ・ しばらくお休みしていた5年S. Sさんが、2月はじめから「ゆめの木教室」に参加します。どうぞ、よろしく願います。
- ・ 航空高等学校F君が冬休みなり、「ゆめの木教室」に元気な姿を見せに来てくれました。「現代社会」と「国語」の教科が難しいそうです。冬休み期間はアルバイトをがんばるそうです。



参加者：合計5人
スタッフ：3人



<1. そら話し合い>

青少年：3人

C君：スタッフと一緒に、集会所の整理・整頓をしてくれました。

Hさん：スタッフにゆず茶づくりを教えてもらい、ゆずを切ったりして一緒につくりながら、恋愛の話などをしました。家でもつくとゆずを持って帰りました。

J君：終わる10分前ぐらいに、元気な顔を見せてくれました。

<2. 日本語学習>

青少年：2人

中3N君：2月4日に高校受験の結果発表があると教えてくれました。その後、その高校で行われる実力テストの勉強をしようと言って、私立高校の過去の問題集を解きました。

中2Uさん：理科と数学の勉強をしました。勉強の後、将来のことなどスタッフと話しました。

今日はスタッフのTさんが、ゆず茶を持ってきてくださって、皆で、いただきました。ごちそうさまでした。また材料を持ってきてくださって、作り方をHさんに教えてくださいました。スタッフと青少年と一緒に集会所の整理・整頓をしたり、ゆず茶づくりをしたりして、和やかな時間を過ごすことも、居場所としての「そら」の1つのスタイルだな、と思いました。

「そら」セミナー報告

平成23年11月19日(土)に、「そら」セミナーを開催しました。当日は、青少年6名、スタッフ4名、ゲスト1名の計11名が集まり、「自己啓発」をテーマに2つのグループワークを行いました。

[グループワーク 1]

20枚の紙に「私は〇〇です。」と20通りの文を記入。
それを元に自己紹介をして、自分を見つめなおす。

[グループワーク 2]

テーマに合わせて、雑誌から写真を切り抜き、色画用紙に貼り付けるワーク。
一作目「喜怒哀楽」
2作目「夢」
その写真を使った理由、意味を質問し合い、普段は見えないその人の新たな一面を知る。



参加者の感想

- ・他の人が、どんな事に興味を持ち、どんな価値感を持っているかが分かった。
- ・自分が見えたかも。
- ・協力し合う作業が楽しかった。
- ・その人の本当は知っていると思っていた事が実は知らなかったり、色んな事が分かった。
- ・自分を意外に知らない事が分かった。書いてみて自分を知った。
- ・相手がどんな人か知るために良いワークだと思った。個性を感じる。



交流会



ブラジルの
ケーキは大きいね

何歳になったかな？



兄弟仲良しだね♪



スタッフより一言

主に「交流会」に参加しています。「交流会」の準備は、事前に季節にあったプレゼントを用意し、当日は食べやすい大きさに料理を切り分け、しっかり声を出して司会を努めるように心がけています。
この春も子どもたちが「ゆめの木」から巣立って行きましたが、彼らの心の中でいい思い出として残るようこれからもがんばりたいと思います。

スタッフ〇さん

